

**【白馬EXアドベンチャー
運用・レスキューマニュアル】**

注意

本「白馬**EX**アドベンチャー 運用・レスキューマニュアル」は、白馬**EX**アドベンチャーを運用する目的で編集されたものです。

白馬**EX**アドベンチャー以外の運用には基本的には適していません。
(移動式アスレチック・委託運営先など例外あり)

また、施設運用・レスキューの項に関しては、適切なトレーニングを受講したスタッフのみ実施することができます。

本マニュアルは、株式会社スパイシー監修・責任において、白馬**EX**アドベンチャーの安全な運用を目的で作成されているものです。

本マニュアルに記載されている方法や技術などについては、本マニュアルに準じた適切なトレーニングを受講したスタッフによって使用されることを想定しています。

第3者が本マニュアルを使用したことによって被った、直接または間接的ないかななる損失、損害については、その責任を負いません。

また、本マニュアルおよびマニュアル内で使用している図や写真についての著作権は株式会社スパイシーが保有しているものがありますので、許可なく本マニュアルの複写、複製、転載することを禁止します。

《発行・責任・監修》

株式会社スパイシー

〒399-9211 長野県北安曇郡白馬村大字北城3020-118

TEL : 0261-72-2857

FAX : 0261-72-6168

URL : <https://spicy.co.jp/>

目次

施設概要

- ・施設名等-----
- ・管理者/安全管理者-----

- 装備について-----

白馬EXアドベンチャー運用上の注意点

- ・情報共有の徹底-----
- ・使用制限について-----
- ・運用中止のガイドライン-----
- ・点検・検査の実施-----

緊急時の行動計画

説明義務(事前説明)

- 同意について

- ・器具、用具類の取り扱いについて

器具類と装着について

施設概要

- 施設名 スパイシー白馬EXアドベンチャー
- 所在地 〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村北城12111
- 電話番号 070-2274-9213
- ホームページ <https://spicy.co.jp/>

- 施設の構造 天然木（唐松 R=200以上）
- 施設面積 15,800㎡

- 施設アイテム 白馬EXアドベンチャー 第1コース：16基 127.5m
白馬EXアドベンチャー 第2コース：14基
ジップライン 55m
クイックジャンプ「飛祭」

- 営業時間 9：00～17：00 最終受付時間16：30

- 駐車スペース 100台以上 岩岳スノーフィールド駐車場使用

- 料金
フルコース大人（中学生以上） 6,000円
フルコース小人 5,000円
フルコースファミリーA（大人2人、小人2人） 19,800円
フルコースファミリーB（大人2人、小人1人） 15,300円
その他料金プランあり

- 利用時間 2～3時間

- 管理者 株式会社SPICY

- 安全管理責任者 株式会社SPICY
代表取締役 塚越 正展

● 装備について

器具名	数量
ヘルメット	
PETZL パンガ	32
Edelrid ゾーディアック	
フリーサイズ 赤・青・緑	29
L サイズ 白・青	
M サイズ 黄・青・赤	
ハーネス	
ボディⅡ S-ML	50
ボディⅡ XL-XXL	2
トムキティキッズ	30
シンバ	30
ライフライン	
黄色 第1コース用	52
白色 第2コース用	50
シャトル	104
カラビナ	208
ZIP ライン	
PETZL トラック	8
HEADRUSH EZ クリップ	2
ランヤード	1
カラビナ	2
確保用ランヤード&カラビナ	1&2
EX コースター	
ローラー本体	2 基
カラビナ	4
ランヤード	2
確保用ランヤード&カラビナ	3&6
回収システム	1 セット

器具	数量
レスキューバッグ	
バック	3
レスキューロープ	35m×4
スチールカラビナ	2
アルミカラビナ	2
スリングランヤード	2
プーリー	10
エイト環	3
はさみ	3
スタッフ装備	
スリングランヤード	4
スチールカラビナ	4
アルミカラビナ	4
チョークバッグ	3
引上げロープ&カラビナ	
スタッフライン	4

※ログ（記録表）について

ライフライン・プーリーなどの器具類には、管理番号がつけられています。
 営業が終了した時点で、その日の使用回数や屋外に準備しておいた時間などをログに必ず記入して下さい。

白馬EXアドベンチャー 運用上の注意点

1.使用制限

白馬EXアドベンチャーでは以下の条件を満たさない場合、参加をお断りします。

①体重制限

体重が120kg以上の方の参加はお断りします。

※体が小さい子どもでも、ハーネスが体にフィットする場合はチャレンジすることはできます。ただし、ゴールできないなどの状況が発生する可能性があるため、参加者に事前説明を行い、了承を得ること。

②ハーネスが体にフィットした状態で装着できない場合

小学生以上の場合でも、ハーネスが体にフィットしない場合は、参加をお断りします。

③身体・健康面（特に心疾患）に関する不安事項がある場合

身体的なリスクを伴う可能性があるため、健康面での確認を行った結果によっては参加をお断りする場合があります。

事前説明や同意書で健康状態も含めた確認を行い、心疾患を患っている方の参加はお断りする場合があります。

④事前確認に同意して頂けない場合

受付時に確認を行う事項について、参加を希望される方の承諾や同意が得られない場合は、参加をお断りします。

【事前確認事項】

・飲酒されている方

・妊婦の方

－ サンダル、ハイヒール、マフラー、コート、装飾品の取り外しに同意して頂けない方（但し、スタッフの安全確認が取れたものは、この限りではない）

運用中止のガイドライン

白馬EXアドベンチャーが以下の状況である場合、運用を中止します。

ケーブルが磨耗、または、切断している場合

- ケーブルの磨耗が、直径の1割に達した場合
- ケーブルが切断・破断している場合

※上記状況が確認された場合は、即時運用を中止し、安全管理者まで連絡すること。安全管理者からメンテナンス業者に連絡します。

悪天候

警報が発令されている場合

白馬EXアドベンチャーがある地方を管轄する気象台の情報を確認し、以下の警報が発令され、現場にもその影響が強く出ている場合は運用を中止します。

- 強風警報
- 大雨警報

雷鳴が聞こえた場合

雷鳴が聞こえた場合、スタッフと確認を行い、状況的に運用を中止します。インターネットや当地域を管轄する気象予報台の発表など、情報を収集すると同時に、稲光を目視した場合は運用を即時中止し、参加者は安全な場所へ避難誘導します。

風速が10mを超える場合

当日の風速が最大風速10m/sを超える場合、運用を中止します。

その他

大雨や濃霧などについては、あらかじめ警報が出ている場合は使用中止を検討し、運用中の悪化については、当日の安全管理責任者の手により判断を行います。安全が確保されたことが確認できたら、コースの運用を再開します。

【運用中止までの流れ】

運用中止の判断は、以下のように決定します。

ケーブルが摩耗している場合

スタッフによる点検の際に、ケーブルの摩耗などが発見された場合は、

- ①運用を即時中止し、発見したスタッフにより安全管理者へ連絡
- ②安全管理者が状況を確認(詳細な確認)
- ③運用中止に値すると判断した場合、安全が確認されるまで運用を中止する。
- ④同時に、メンテナンス業者に連絡し緊急検査を実施する。悪天候

①当日の気象予報台の情報を始業前の09:00までに確認。

警報が発令されている場合は、安全管理責任者の判断で運用を中止する。

注意報が発令されている場合は、安全に留意して運用を行う。

②運用中の天候悪化の場合

現場スタッフからの情報、気象情報などから判断する。

スタッフ体制が整わない場合

始業前ミーティングを実施し、その時点の状況により判断する。

点検及び定期検査の実施

白馬EXアドベンチャーの安全な運用のため、以下の点検及び検査を実施します。検査は定期的に専門家により実施され、点検はスタッフによって実施されるものです。

※なお、点検を実施する場合(特に応急点検)は、目視および触診による点検を実施したのち、ケーブルを利用した点検を行って下さい。上記点検を実施するまでは、ケーブルを利用しないで下さい。

※点検については、必ず複数名で行って下さい。

(ダブルチェックと、緊急時対応の目的から2名以上で行って下さい)

※点検・検査項目は別途記載してあります。

①始業前点検

日々の始業前に必ず目視による点検を行うこと。

※点検表は巻末資料に添付してあります。

②定期点検

月1回に目視による点検を行うこと。

※点検表は巻末資料に添付してあります。

③応急点検

地震(震度4以上)、台風(風速20m/s以上)、落雷の可能性などがあった場合は点検を行うこと。

※点検表は巻末資料に添付してあります。

④定期検査

最低年1回以上、専門家による検査を実施すること。

※使用頻度によっては検査実施回数が増える場合があります。

※点検表及び定期検査レポートの保管

始業前点検、定期点検、応急点検の点検表、および、定期検査レポートについては、それぞれでファイリングするなどして最低3か年保管して下さい。

※メンテナンスについて

破損や摩耗などの修繕はメンテナンス業者の責任の下に行われる必要があります。

施設スタッフの手による修繕が原因によるいかなる事故について、その責任メンテナンス業者は負いかねます。

なお、点検で発見されたデッキの板材のひび割れについては、定期的な防腐処理などをスタッフが行って下さい

事故などの緊急時には、以下の行動マニュアルに従い行動すること。

1.緊急事態発生時

①事態の把握

全ての運用を一時中止し、状況把握と共有を徹底する。

②傷病者の救護

傷病者がいる場合、直ちに応急手当（救急救命）を行う。

緊急連絡網に則り、緊急通報する。

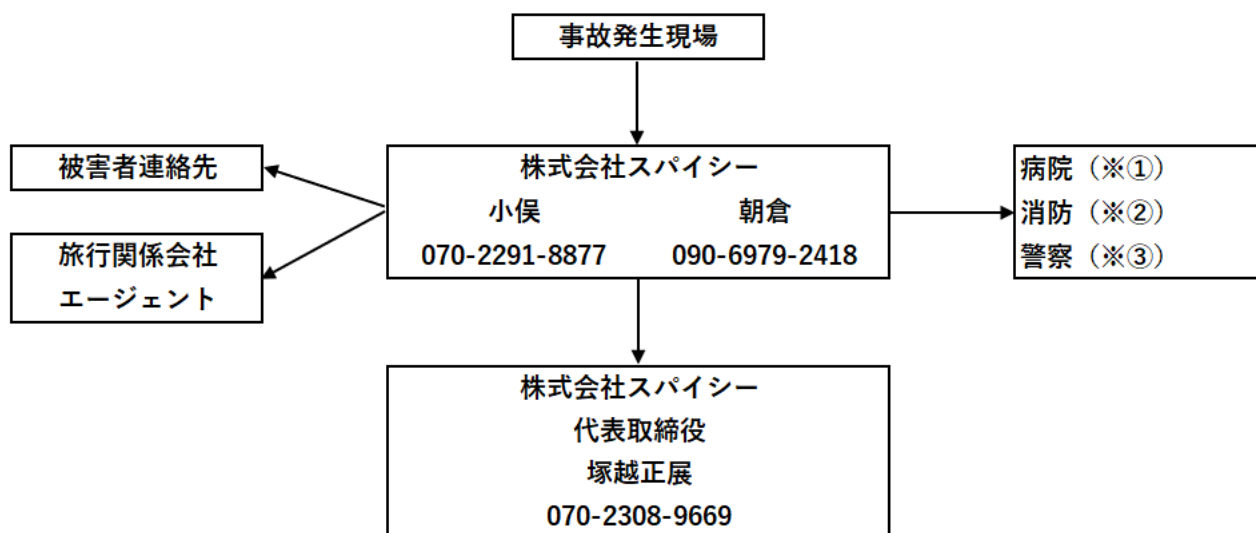
傷病者に対応の進捗案内、事故当時の状況を報せ、精神的な不安を減らす対応をする。

（※上記は必ず2人以上で分担し行うこと）

③事故原因の判明と改善、事態の収束、安全の確保ができたなら、運用を再開する。

④マネージャー以上の役職は、被害者と今後の対応に関して話をする。

2.緊急連絡網～



説明義務 (事前説明)

白馬EXアドベンチャーに参加を希望される方には必ず事前確認を行うこと。

①事前確認事項について

白馬EXアドベンチャーの基本ルール

注意事項のご案内

- ①. 飲酒されている方、妊婦の方の参加はご遠慮ください。
- ②. サンドル(かかとが固定されていないもの)クロックス、ハイヒール、マフラー、コート、装飾品(長いもの)等は事前にお外し下さい。
* 但しスタッフの安全確認の取れたものについてはこの限りでない
- ③. コースではスタッフの指示に必ず従うこと
(なお、指示に従わなかった場合の怪我などの障害及び損害については責任を負いかねます)
- ④. アドベンチャーコースはリスクが介在するものであるので、以上のことを守ってください。

装具 (以下に関してはセーフティトークで述べる)

ハーネス、ライフライン他については、スタッフの指示の通り装着し、参加者は自分で触ったり、取り外したりしないこと

チャレンジ時の注意事項

第1・第2コース

1. ケーブル・カラビナには絶対に触らないこと
2. スタッフの指示には必ず従うこと
3. 何かあった場合は、大声でスタッフを呼ぶこと
4. スタッフが対応しに来るまで待つこと

ジップライン

1. ケーブル・カラビナには絶対に触らないこと
2. 器具類はスタッフがケーブルに装着、取り外すこと
3. スタート時、滑空中の姿勢の説明

クイックジャンプ

1. カラビナには絶対さわらないこと
2. スタート時、降下中の姿勢の説明

同意について(健康面に関する確認も含む)

白馬EXアドベンチャーは、誰でも手軽にアドベンチャー体験ができる施設で、安全については十分に考え抜かれたシステムや工夫が随所に生かされています。

しかし、時に心身に障害などの影響を与えてしまうリスクも存在するため、以下のことについて参加者に書面をもとに口頭で説明し、参加される方自身が承諾し、同意した上で参加してもらうようにして下さい。

参加同意書 (例)

白馬 EX アドベンチャーは特殊な器具を用いて、上空で活動を行うものであり、さまざまな身体的、感情的なアドベンチャー活動が含まれます。

白馬 EX アドベンチャーでの参加レベルはいかなる場合も、参加者個人の選択に委ねられていますが、活動に参加することにより、感情的、身体的に障害や負傷を被る可能性があるということをご理解ください。

また、白馬 EX アドベンチャーでの活動に関してご不明な点などございましたら、当コーススタッフにどのようなことでもご質問下さい。

参加の同意

私は白馬 EX アドベンチャーに参加するにあたり、

- 1) 白馬 EX アドベンチャーの一部が身体的、感情的な負担がかかる可能性があること
- 2) 白馬 EX アドベンチャーには、事故または傷害のリスクがあること
- 3) スタッフからの安全に関する注意事項についてはその指示に従います。その限りではない場合に生じた身体的及び感情的損害、障害については責任を問いません。
- 4) 私は健康であり、以下の疾病に関し、医師などによる治療中ではありません。
①首、背中、足腰の障害 ②心臓の障害 ③その他体調不良
- 5) 当コーススタッフが必要を認めた場合、スタッフの選択する医療機関への搬送、応急処置、治療に従います。

私は上記内容について承諾し、白馬EXアドベンチャーに参加します。

日 付: _____ 年 月 日

名 前: _____

保護者名: _____ (参加者が18歳未満の場合)

白馬EXアドベンチャー運用の流れ

1. コース運用開始準備

コースの運用開始に当たって以下のことを行うこと。

①ミーティング

当日コース運用を担当するスタッフで、当日の天候や予約状況、役割分担についてミーティングを行い、共通認識を図ること。

②器具や装備を準備し、点検をする

コースを運用する上で必要な器具類を準備し、それぞれ異常がないか確認を行うこと

③始業前点検

点検項目は始業前点検表を元に実施し、結果を記入すること

④点検報告

使用前点検の結果、コースの状況や注意点など、スタッフ間で情報を共有する。

⑤コース以外の準備

装具類をテントに出す、遊具や休憩スペースの設置等を分担して行う。

⑥最終確認

コースが運用できる状態が整ったかどうか、複数名のスタッフで最終確認を行うこと。

装備・器具類についての注意事項

ヘルメット、ハーネス、プーリーの説明と装着方法を解説します。

白馬EXアドベンチャーで使用できる装備類は、UIAAまたはCEの認証を受けているものである必要があります。

(装備類にUIAAまたはCEのマークが貼付されています)

器具類の取り扱い

器具類は、直接的に命にかかわるもので、その管理は重要です。

直射日光、砂やほこり、化学物質、衝撃など、器具類にダメージを与えてしまうものがありますので、「放置しない、投げない、火気を近づけない、ログを取る」このことを大切にしてください。

※ロープなどの取り扱いについては、巻末資料を参照して下さい。

※虫よけスプレーなど化学物質は、ナイロン製品やプラスチック製品に深刻なダメージを与えてしまう場合があります。化学物質が含まれるものを使用する際は、器具類を一度取り外して使用して下さい。

器具類の保存方法

ハーネス、ヘルメット、プーリーなどは必ず所定の場所へ保管するようにして下さい。ナイロン製品やプラスチック製品は直射日光を避け、風通しの良いところで保管するようにして下さい。

雨に濡れた場合は、日陰で自然乾燥させて下さい。

また、汚れなどが目立つ場合、洗濯機や乾燥機、洗剤は使用せず、水洗い(ぬるま湯も可)をして日陰で自然乾燥させて下さい。

※高温のお湯や乾燥機を使用した場合、ナイロン製品は著しく縮んでしまうことがありますので、絶対に避けてください。

また、洗濯機や乾燥機は思わぬダメージを与えてしまう場合がありますので、使用しないようにして下さい。

ログの記入

プーリーやハーネス、ヘルメットなどについては、管理番号を元にして、使用記録を必ず取るようにして下さい。

破損や摩耗が見つかった場合

始業前点検などで器具類に摩耗や破損が見つかった場合は、その器具類の使用を中止し除けておきます。

破損・摩耗状況について販売店、メーカーなどと使用可能か相談します。

プラスチック、ナイロン製品は製造から10年で廃棄すること。

ヘルメットやハーネス、ロープなどプラスチック、ナイロン製品は製造から10年が経過すると劣化・変質してしまいます。その結果、従来の強度が保てなくなってしまうため、10年で廃棄しなければなりません。

ロープ類の取り扱いについて

白馬 EX アドベンチャーで使用するロープは、基本的にレスキュー時に用いるものであり、取り扱いや保管を正しく行うことで、ロープの性能を保つことができます。

避けなくてはならないこと

日光—日光の当たらないところに保管すること！紫外線はダイナミックロープの材質であるナイロンの劣化を招きます。また、使用する際についても屋外に出っぱなしにするなどしないようにする。

土、砂、ほこり—ロープは踏まないこと！もし踏んでしまうと微細な鉱物の粒がロープの外側を守っているマントルを通り、中心の核を傷つけるなどの見えないところでダメージが進む可能性がある。土にまみれているなど、汚れた状態のロープで開口型ビレイ器具やエイト環等を使用する際も同様の危険性がある。

誤用—ビレイ以外の目的に使用しない！

化学物質—ロープは全ての化学物質や汚染物質から遠ざけておくこと
誤用を避ける必要があります。

その他—コンクリートに触れた状態で保管しないこと！コンクリート表面の化学物質を吸収してしまうことが考えられます。コンクリートはたとえ完全に固まっている状態であっても、調合されてから長い時間化学的に不安定な状態が続きます。

適切なケアが必要。保管する前に、すべてのノットをほどき、濡れたら風通しのよい日陰で完全に乾かすなどしてから保管する。保管する際、折り曲げによる負荷が一部分にかからないよう注意すること。大きめのバックに入れるか幅のひろいペグにかけるなどして、ロープの曲がりかゆるくなるよう工夫し、日光を避け、涼しく風通しが良いところに保管する。

器具類と装着について

1・ハーネス

ハーネス(参加者はフルボディハーネス、スタッフはシットハーネス)



こども用



大人用



スタッフ用

※まず最初にすべてのループ(体を通す箇所)を緩めておきます。

- ①両足、肩を通します。
- ②胸部のベルトを締めます。
- ③大腿部のループがフィットするようにベルトを調整します。
- ④肩部にあるベルトを調整し、体にしっかりとフィットするようにします。
- ⑤装着完了

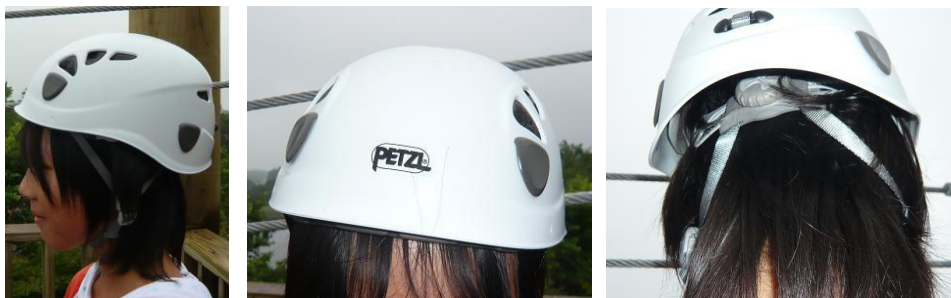
2・ヘルメット

ヘルメットはコース上にあるケーブルや板材などから頭部を守るために被ります。

サイズ調整機能を備えているものもあります。

装着のポイント

- ・頭部にしっかりとフィットさせること。
- ・額部が隠れるように被ること。
- ・あご紐は首などが苦しくない程度に締められていること。
- ・装着後、首を左右に振ってもヘルメットがずれないようにすること。



3・カラビナ

カラビナは、シャトルとライフライン、ライフラインとハーネスを接続するために使用する器具。白馬EXアドベンチャーでは、ロック機能具备了ものを使用し、アルミ製のものとスチール製のものがあります

※ケーブルに直接クリップインできるカラビナは、スチールカラビナです。

※スクリューダウンについて



ロック部が地面に対して下向き、重力に逆らわないようにすることを「スクリューダウン」と言います。

4. ライフライン

ライフラインは、①シャトル、②ライフライン、③ハーネス装着用カラビナ、から構成されています。



□シャトル

シャトルは正式名を「エクスポグライダー®」といい、ケーブルと接続する器具です。このシャトルによって、ゴールまでライフライン(命綱)を外すことなくチャレンジすることができるようになりました

□ジッププーリー

ジップラインで使用する滑車のついた器具。プーリーの最高速度は毎秒20m(時速72km)以下。PA-EXのコースで使用する場合は速度は時速30km以下に設定しています。

その他

～定期安全検査～

白馬EXアドベンチャーでは、年最低1回の専門家による定期安全検査を義務付けています。

コースの利用状況によっては、年数回の定期安全検査の実施を行って下さい。

定期安全検査では、ケーブルやデッキ、ブラケットに加えて器具類についても検査を行います。

検査実施後は、定期安全検査報告書を提出いたしますので、最低で3カ年分を保管して下さい。

～スタッフトレーニング～

特にレスキューに関しては、定期的にブラッシュアップが必要です。

レスキューの講習会を受講された方は、適宜、白馬EXアドベンチャースタッフによるブラッシュアップトレーニングを受講して下さい。

～その他コースに必要なもの～

よくある怪我としては、擦り傷、切り傷、打撲などが考えられるため、ファーストエイドセットが必要です。

なお、応急処置を行う場合(特に消毒など薬品を使用する場合)には、当事者にアレルギーなどの確認を取りながら使用すること。